

総合型選抜 探Q入試

インターネット出願

★総合型選抜 探Q入試のポイント

- ①総合型選抜 探Q入試は、エントリー期間と出願期間が異なることがポイント。エントリーの段階では入学検定料がかからないこと、出願許可が出ても出願するまでは他大学との併願も可能となっていることから、志望校が明確に決まっていなくてもチャレンジできます。
- ②総合型選抜 探Q入試で入学が決まった方でも1月に行われる一般選抜A方式1期(KVASカラシップ型)を受験可能です。授業料が最大4年間免除となるKVASカラシップALLにも積極的にチャレンジしてみましょう。(入学検定料30,000円→5,000円に減免)

詳細はP101参照

★出願資格のポイント

学業成績の条件はありません。

本学で学びたいという探究心を持っている方の出願(エントリー)をお待ちしています。

★入学検定料

30,000円

総合型選抜 探Q入試は出願前に所定の面談などを受ける必要があります。
詳細は、(学科探究型)→P.80、(自己探究型)→P.82、(学び探究型)→P.84、(課題探究型)・(探究活動報告型)→P.86～87のフローチャートで確認してください。

出願資格

次の(1)～(4)のいずれか1つに該当し、かつ、(ア)(イ)の条件を満たす女子

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者、または2024年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または2024年3月修了見込みの者
- (3) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2024年3月31日までに修了見込みの者
- (4) 高等学校卒業程度認定試験に合格した者、または2024年3月31日までに合格見込みの者で、2024年3月31日までに18歳に達するもの(大学入学資格検定に合格した者を含む。)

(ア) 本学を第1志望とし、誠実で学習意欲があり、合格後必ず本学へ入学する意思のある者

(イ) 出願前に所定の面談などを受け、出願を許可された者

選考方法

面談などの結果、出願書類による総合判定

※出願後は出願書類による判定のみを行うため、来学の必要はありません。

出願上の注意

出願が許可された方は、出願期間内に本学インターネット出願サイトにて出願登録を行った後、必要な書類を印刷し、調査書^{*}と合わせて郵送してください。なお、出願書類郵送後は、他大学及び本学の他学科との併願はできません(専願)。

※エントリー時に調査書を提出している人間栄養学科も改めて提出が必要です。

重要 総合型選抜 探Q入試エントリー時の提出書類^{*}などについて

※学び探究型はオープンキャンパスの体験授業で作成する体験授業ワークシートの提出をもってエントリー完了となります。

1. エントリー時に提出する書類について(提出書類はエントリーする総合型選抜 探Q入試のタイプによって異なります)

- (1) 総合型選抜 探Q入試エントリーシート(学科探究型、自己探究型、課題探究型、探究活動報告型)
 - ・本学ホームページから印刷したものを使用し、黒ボールペン(油性のみ、消せるタイプは不可)を用い、必要事項を記入してください。
 - ・写真(タテ4cm×ヨコ3cm)1枚は、カラー・白黒のどちらでも構いません。
 - ・無帽で上半身正面が鮮明に写っているもので、写真の裏面には、エントリー学科及び氏名を記入し、貼り付けてください。
 - ・エントリー学科の希望する面談日を1つ選択し、□にチェックを付けてください。※面談会場は学科により異なります。
現代生活学部 現代家政学科・人間栄養学部 人間栄養学科:千代田三番町キャンパス
現代生活学部 生活デザイン学科・食物学科・児童学科:町田キャンパス
- (2) 学科紹介ワークシート(学科探究型)
 - ・オープンキャンパスの学科紹介で配付された学科紹介ワークシートを使用し、黒鉛筆またはシャープペンシルを用い、必ず自筆で横書きに記述してください。
- (3) 自己分析レポート(自己探究型)
 - ・本学ホームページから印刷したものを使用し、黒ボールペン(油性のみ、消せるタイプは不可)を用い、必ず自筆で横書きに記述してください。
- (4) 自己紹介文(課題探究型、探究活動報告型)
 - ・本学ホームページから印刷したものを使用し、黒ボールペン(油性のみ、消せるタイプは不可)を用い、必ず自筆で横書きに記述してください。
- (5) 課題(課題探究型)
 - ・学科により異なりますので、P.88～97に記載されている提出の形式や注意事項を必ず確認してください。
 - 形式にそって作成されていない場合には、採点されないことがあります。
- (6) プレゼンテーション用資料(探究活動報告型)2部
 - ・サイズはA3またはA4(用紙は自由)とし、枚数は5分間でプレゼンテーションできれば何枚でも可とします。
- (7) 調査書(人間栄養学部 人間栄養学科のみ)
 - ・人間栄養学部 人間栄養学科にエントリーする方は、必ず封緘された調査書を提出してください(高等学校、中等教育学校の卒業生及び専修学校の高等課程修了者も同様)。
 - ・エントリーする時点で提出できる調査書(高校2年修了時の成績でも可)を提出してください。
 - ・**調査書が提出できない方は、エントリーできません(既卒者の方は、エントリー前に必ず出身高校で調査書が発行できるか確認してください)。**※高等学校卒業程度認定試験合格者のエントリーは受け付けますので、提出書類については、事前にアドミッションオフィスまでお問い合わせください。

2. エントリー書類の郵送について

- ・封筒は必ずA4タテ型(角2)のものを使用してください。
- ・封筒には必ず氏名、郵便番号、住所、エントリーする学科を明記してください。
- ・エントリーに必要な書類がそろっていない場合には、エントリーを受け付けませんので、郵送前に書類がすべてそろっていることを必ず確認し、1つの封筒に入れてください。
- ・エントリーの受付は、学科探究型、自己探究型は8月14日(月)から、課題探究型、探究活動報告型は9月1日(金)から開始となります。
- ・締切日については、希望する学部・学科・面談日などにより異なりますので、必ず(学科探究型)P80～81、(自己探究型)P82～83、(課題探究型、探究活動報告型)P86～87のフローチャートを確認してください。
- ・郵便料金は、書類の重さにより異なりますので、郵便局窓口で確認し、「簡易書留、速達」で郵送してください。

3. 注意事項

- ・総合型選抜 探Q入試は、自己探究型、学び探究型を除き、複数のタイプ・日程(期)・学科への同時エントリーはできません。ただし、出願許可判定結果(人間栄養学部 人間栄養学科は一次選考結果を含む)が不許可(一次選考不通過)だった場合には、次の期以降に再度エントリーすることができます。
- その際は、エントリー学科を変更しても構いません。
- ・オープンキャンパス開催時にエントリー書類を持参する場合も、封筒に入れて持参してください。
- ・原則として、エントリー書類は返却しません。
- ・エントリー時には入学検定料の納入は必要ありません。

194-0292

東京都町田市相原町2600番地

東京家政学院大学
アドミッションオフィス 御中

総合型選抜エントリー書類在中

簡易書留

注:重要な書類の送付のため、郵送の際は必ず郵便局の窓口で「簡易書留、速達」にて郵送してください。このページをコピーして、宛名として使用してください。

探Q入試(課題探究型、探究活動報告型)フローチャート

(課題探究型) 全学科

(探究活動報告型)

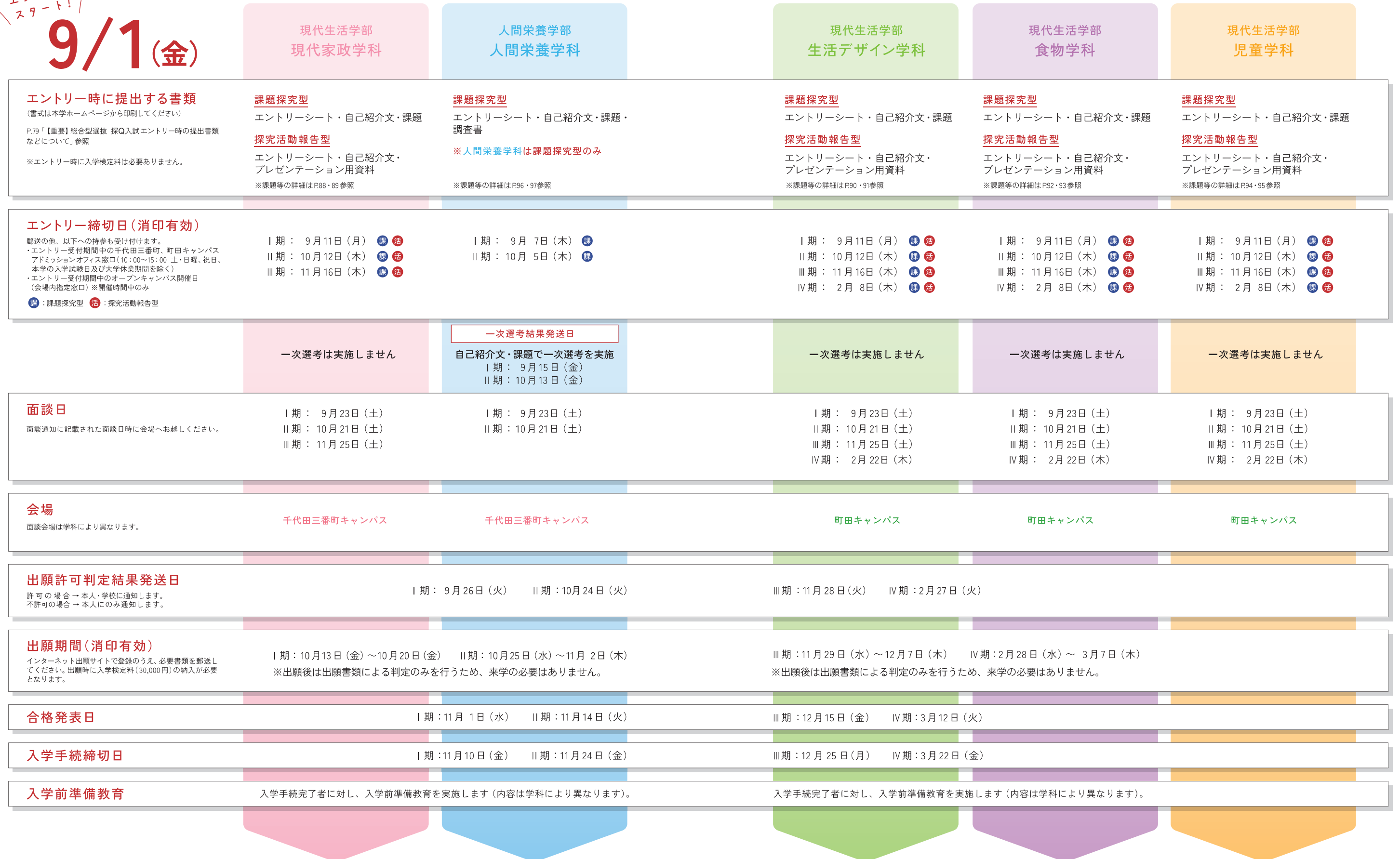
現代家政
学科

生活
デザイン
学科

食物
学科

児童
学科

エントリー
スタート!
9/1(金)



現代家政学科（課題探究型、探究活動報告型）

課題探究型

エントリー書類

「エントリーシート」・「自己紹介文」・「課題」を一緒に提出してください。

(1) エントリーシート

本学ホームページから「エントリーシート」を印刷し、使用してください。

(2) 自己紹介文

本学ホームページから「自己紹介文」を印刷し、以下の項目について800字以内で記述してください。

- ①東京家政学院大学の志望学科への志望動機
- ②志望学科で学びたいこと
- ③大学卒業後、志望学科での学びをどのように活かしたいか

(3) 課題

次の①～④の中から1つ選択し、課題を作成してください。なお、①～③を選択する場合は、必ずあなたのテーマ（タイトル）を設定してください。

①SDGsの17の目標から、あなたがやりたい目標を1つ選び、A) その目標に関する現状における問題点、B) 実施されている対策例、C) あなたがどのように取り組むかについて説明し、意見・考えを記述してください。

【例】貧困をなくそう：子ども食堂、つくる責任つかう責任：フードロス

②わたしたちがより健康・安全な生活を送るために、必要と考えられることについて、A) 現状における問題点、B) 具体的な提案、C) 期待される効果を説明し、現代人に求められる健康・安全な生活についてのあなたの意見・考えを記述してください。

【例】ダイエット、賞味期限・消費期限、バリアフリー など

③右記のQRコードまたは本学ホームページ上にアップロードされている、これからの生活について考えるための「体験授業動画」を視聴し、



A) その授業で提示する内容に答え、B) 授業を受けた感想を記述してください。

④課題図書該当箇所を読んで、以下の内容について記述してください。

課題図書 本田由紀著 【「日本」ってどんな国？ -国際比較データで社会が見えてくる-】 筑摩書房（ちくまプリマー新書）1,012円
「第1章 家族」において、著者は現代日本において家族はつくることも維持することも難しく、家族間の関係性にも多くの問題が生じていると指摘しています。課題図書を読んで、以下の2点について合わせて800字以内で記述してください。

- 1) 著者が指摘する、現代日本における家族の問題とは具体的にどのようなものでしょうか、簡潔にまとめてください。
- 2) 著者は1) で示した問題を解消するためにはどのようなことが重要だと主張しているかをまとめ、それについてのあなたの考えを記述してください。

* ①、②は例にこだわらず、自由にあなたの関心のあることについてまとめてください。

※課題①～③についての注意

- ・A4用紙（白紙またはレポート用紙）3～4枚を使用してください。
- ・筆記用具は鉛筆以外の黒ボールペン、プリンターによる印字などを使用してください。
- ・課題には具体的なタイトルをつけてください。
- ・右の記入例を参考に、課題番号、あなたのタイトル、氏名、ページ番号を書いてください。
- ・内容の書き方は自由です。絵や写真、表、グラフなどを添えても結構です。
- ・課題作成にあたり、参考または引用した資料名（インターネット情報のみではなく、新聞や書籍などを利用することが望ましい）を必ず明記してください。

※課題④についての注意

- ・市販の原稿用紙（A4 サイズ、横書き400字詰め）、または本学ホームページから「原稿用紙（総合型選抜用）」を印刷したものに記述してください。
- ・右の記入例を参考に、課題番号、氏名、ページ番号を書いてください。

記入例（全ての用紙に記入）

課題番号	氏名
タイトル（④をのぞく）	
ページ番号	

面談の方法

指定された日時に会場へお越しください。

- (1) 面談方法 エントリー者1名に対し、2名の教員で個人面談（1回）を行います。
- (2) 面談内容 「自己紹介文」と「課題」を中心に行います。「課題」について約1分間の口頭での説明を求めます。互いの理解を深めることが目的です。
- (3) 面談時間 約25分間行います。

評価の方法

「自己紹介文」・「課題」・「面談」をもとに、結果を総合的に評価し、出願許可者を決定します。出願許可判定結果については、許可・不許可にかかわらず、面談を受けた全員に通知します。

- (1) 配点 自己紹介文（10）＋課題（30）＋面談（60）＝100点
- (2) 評価内容 本学建学の精神、アドミッションポリシーに基づき、提出された書類及び面談（プレゼンテーションなどを含む）を通じて、学力の3要素（知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性）を多面的・総合的に評価します。また、志望動機、学科内容の理解度と志望内容の適合度なども合わせて評価します。

探究活動報告型

エントリー書類

「エントリーシート」・「自己紹介文」・「プレゼンテーション用資料」を一緒に提出してください。

(1) エントリーシート

本学ホームページから「エントリーシート」を印刷し、使用してください。

(2) 自己紹介文

本学ホームページから「自己紹介文」を印刷し、以下の項目について800字以内で記述してください。

- ①東京家政学院大学の志望学科への志望動機
- ②志望学科で学びたいこと
- ③大学卒業後、志望学科での学びをどのように活かしたいか

(3) プレゼンテーション用資料（提出用）2部

あなたが高校時代に行った「探究活動」について、以下の項目を意識して資料を作成してください。

- ①その内容と取り組んだ理由
- ②その取り組みの中で大変だった（困った、悩んだ）こと、それをどうやって解決したか
- ③②で得た経験をこれからの学びにどう活かしていきたいか

活動例）
高等学校での活動（総合的な探究の時間での取り組み、部活動、生徒会・委員会活動など）

資格・検定を取得（合格）するための活動（取得の有無は問わない）

作品制作

※「総合的な探究の時間」で作成した資料などがある場合は、それを提出することも可

資料サイズはA3またはA4（用紙は自由）とし、枚数は5分間でプレゼンテーションできれば何枚でも構いません。

プレゼンテーション（発表）方法

面談開始後、最初の5分間でプレゼンテーション（発表）していただきます。なお、プレゼンテーション時に使用する資料は持参してください（提出したものと同一資料でも構いません）。また、プレゼンテーション時に資料の掲示を希望する場合は、ホワイトボードの使用を認めます（PCでの投影は不可）。

面談の方法

指定された日時に会場へお越しください。

- (1) 面談方法 エントリー者1名に対し、2名の教員で個人面談（1回）を行います。
- (2) 面談内容 プレゼンテーション（発表）と、事前に提出された自己紹介文とプレゼンテーション（発表）内容についての質疑応答を行います。
- (3) 面談時間 約25分間（プレゼンテーション（発表）5分間＋質疑応答20分間）行います。

評価の方法

「自己紹介文」・「プレゼンテーション用資料」・「面談」をもとに、結果を総合的に評価し、出願許可者を決定します。

出願許可判定結果については、許可・不許可にかかわらず、面談を受けた全員に通知します。

- (1) 配点 自己紹介文（10）＋プレゼンテーション用資料（10）＋面談（80）＝100点
- (2) 評価内容 志望動機と志望学科の学びとの適合度、探究活動について、活動内容の良し悪しではなく、資料だけでもプレゼンテーションの内容がわかるよう工夫がされているか（必要な項目が盛り込まれているか）表現力などを総合的に評価します。

生活デザイン学科（課題探究型、探究活動報告型）

課題探究型

エントリー書類

「エントリーシート」・「自己紹介文」・「課題」を一緒に提出してください。

(1) エントリーシート

本学ホームページから「エントリーシート」を印刷し、使用してください。

(2) 自己紹介文

本学ホームページから「自己紹介文」を印刷し、以下の項目について800字以内で記述してください。

- ①東京家政学院大学の志望学科への志望動機
- ②志望学科で学びたいこと
- ③大学卒業後、志望学科での学びをどのように活かしたいか

(3) 課題

次の①～④の中から1つ選択し、課題を作成してください。

①あなたの服装について（a、b両方の項目について、分けて記述してください）

- a. 休日に外出したときのあなたの服装のコーディネートについて説明文、図、写真などで表現してください。日付・天候・外出先、同伴者の有無、その服装を選んだ理由も示してください。
- b. aで示した服装での外出は快適だったかどうかについて、快適だったと感じた点、快適ではなかったと感じた点のいずれか、またはその両方について、理由も合わせて説明してください。また、どうすればもっと快適に過ごせたかについて提案をしてください。
☆快適かどうかの考察ポイントの例：色・柄・デザイン、着心地、素材、縫製、手入れ・洗濯のしやすさ、サイズ、動きやすさなど。

②あなたの住まいについて（a、b両方の項目について、分けて記述してください）

- a. 身近な生活空間（住宅、インテリア、街並み、庭や緑地など）において、あなたや家族が生活するうえで、気に入っている点、または不都合な点を説明文、図、写真などで表現してください。
- b. より快適に生活するために、aで示した気に入っている点または不都合な点を、改善できる方法ならびに改善後に期待される効果について調べ、説明文、図、写真などで表現してください。
☆気に入っている点・不都合な点の例：植木の配置、住宅の間取り、住宅内の収納、床の段差や階段の手すり、窓面の結露、空気の汚れ、部屋の明るさ、暖冷房、キッチン・浴室・トイレの使い勝手など、身近に経験すること。

③制作作品について

自分で制作した作品（絵、イラスト、マンガ、写真、動画、書、デザイン、小物、洋服、和服などの作品）について、説明文、図、写真などで紹介してください。その作品を制作した理由、制作過程で工夫したところ、作品の気に入っている点、制作を通して得られた気づきや学びなどについて説明してください。作品の実物は当日持参してください。

④あなたの興味のある仕事（または取得したい資格）について、以下の内容を800字以内で記述してください。

- 1) その仕事（または取得したい資格）に関する概要
- 2) なぜその仕事（資格）に就きたい（取得したい）と思ったのか
- 3) その仕事（資格）を通じて社会にどのように貢献したいか

※課題についての注意

- ・①～③はA4用紙（白紙またはレポート用紙）2枚を使用してください。イラストや写真、図の挿入など、書き方は自由です。
- ・④は市販の原稿用紙（A4サイズ、横書き400字詰め）、または本学ホームページから「原稿用紙（総合型選抜用）」を印刷したものに記述してください。
- ・右の記入例を参考に、課題番号、氏名、ページ番号を書いてください。

記入例（全ての用紙に記入）

課題番号	氏名
ページ番号	

面談の方法

指定された日時に会場へお越しください。

- (1) 面談方法 エントリー者1名に対し、2名の教員で個人面談（1回）を行います。
- (2) 面談内容 「自己紹介文」や「課題」を中心に行います。
- (3) 面談時間 約25分間行います。

評価の方法

「自己紹介文」・「課題」・「面談」をもとに、結果を総合的に評価し、出願許可者を決定します。

出願許可判定結果については、許可・不許可にかかわらず、面談を受けた全員に通知します。

(1) 配点 自己紹介文（10）＋課題（30）＋面談（60）＝100点

なお、課題③の課題評価点（30）には、面談時に持参した作品の評価も含めます。

- (2) 評価内容 本学建学の精神、アドミッションポリシーに基づき、提出された書類及び面談（プレゼンテーションなどを含む）を通じて、学力の3要素（知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性）を多面的・総合的に評価します。また、志望動機、学科内容の理解度と志望内容の適合度なども合わせて評価します。

探究活動報告型

エントリー書類

「エントリーシート」・「自己紹介文」・「プレゼンテーション用資料」を一緒に提出してください。

(1) エントリーシート

本学ホームページから「エントリーシート」を印刷し、使用してください。

(2) 自己紹介文

本学ホームページから「自己紹介文」を印刷し、以下の項目について800字以内で記述してください。

- ①東京家政学院大学の志望学科への志望動機
- ②志望学科で学びたいこと
- ③大学卒業後、志望学科での学びをどのように活かしたいか

(3) プレゼンテーション用資料（提出用）2部

あなたが高校時代に行った「探究活動」について、以下の項目を意識して資料を作成してください。

- ①その内容と取り組んだ理由
- ②その取り組みの中で大変だった（困った、悩んだ）こと、それをどうやって解決したか
- ③②で得た経験をこれからの学びにどう活かしていきたいか

活動例)

高等学校での活動（総合的な探究の時間での取り組み、部活動、生徒会・委員会活動など）

資格・検定を取得（合格）するための活動（取得の有無は問わない）

作品制作

※「総合的な探究の時間」で作成した資料などがある場合は、それを提出することも可

資料サイズはA3またはA4（用紙は自由）とし、枚数は5分間でプレゼンテーションできれば何枚でも構いません。

プレゼンテーション（発表）方法

面談開始後、最初の5分間でプレゼンテーション（発表）していただきます。なお、プレゼンテーション時に使用する資料は持参してください（提出したものと同一資料でも構いません）。また、プレゼンテーション時に資料の掲示を希望する場合は、ホワイトボードの使用を認めます（PCでの投影は不可）。

面談の方法

指定された日時に会場へお越しください。

- (1) 面談方法 エントリー者1名に対し、2名の教員で個人面談（1回）を行います。
- (2) 面談内容 プレゼンテーション（発表）と、事前に提出された自己紹介文とプレゼンテーション（発表）内容についての質疑応答を行います。
- (3) 面談時間 約25分間（プレゼンテーション（発表）5分間＋質疑応答20分間）行います。

評価の方法

「自己紹介文」・「プレゼンテーション用資料」・「面談」をもとに、結果を総合的に評価し、出願許可者を決定します。

出願許可判定結果については、許可・不許可にかかわらず、面談を受けた全員に通知します。

(1) 配点 自己紹介文（10）＋プレゼンテーション用資料（30）＋面談（60）＝100点

- (2) 評価内容 志望動機と志望学科の学びとの適合度、探究活動について、活動内容の良し悪しではなく、資料だけでもプレゼンテーションの内容がわかるよう工夫がされているか（必要な項目が盛り込まれているか）表現力などを総合的に評価します。

食物学科（課題探究型、探究活動報告型）

課題探究型

エントリー書類

「エントリーシート」「自己紹介文」「課題」を一緒に提出してください。

(1) エントリーシート

本学ホームページから「エントリーシート」を印刷し、使用してください。

(2) 自己紹介文

本学ホームページから「自己紹介文」を印刷し、以下の項目について800字以内で記述してください。

- ①東京家政学院大学の志望学科への志望動機
- ②志望学科で学びたいこと
- ③大学卒業後、志望学科での学びをどのように活かしたいか

(3) 課題

次の①～⑦から1つを選択し、課題を作成してください。

- ①あなたが普段の食生活で気をつけていること、あるいは、こだわっていることについて記述してください。その理由も記述してください。
- ②「朝食を食べることについての必要性」を調べ、それに対するあなたの考えをまとめてください。
- ③2013年に「和食：日本人の伝統的な食文化」がユネスコ無形文化遺産に登録され、外国人の間で「和食」への関心が高まっています。あなたが外国人に紹介してみたい具体的な「和食」(の献立)は何ですか。その理由を含めて記述してください。
- ④SDGsでも取り上げられている「食品ロス」の問題を解決するために、あなたが今(これから)できることは何ですか。また、その取り組みを積極的に進めるうえで、何らかの障害もしくは問題点などがあればその解決方法についても考えて、記述してください。
- ⑤課題図書を読んで、1)、2)どちらかの内容について800字以内で記述してください。
 課題図書 【ニュートン別冊 やせる科学 健康的にやせるための科学知識】 ニュートンプレス 1,780円
 1) 課題図書を読んで、生活が不規則で肥満 (BMI25以上) の40～50代の男性に対する、肥満を解消するための食事メニュー (1日分、朝・昼・晩) を提案してください。
 2) 課題図書を読んで、生活が不規則で肥満 (BMI25以上) の40～50代の男性に対する、肥満を解消するための新しい生活習慣 (2～3ヶ月の期間) を提案してください。
 ※それぞれの提案については、その科学的根拠を必ず示してください。
 「科学的根拠を示す」とは、例えば、課題図書の〇〇ページ、〇〇〇〇という記述から、などと具体的に引用部分を記述することです。
- ⑥課題図書を読んで、以下の内容について800字以内で記述してください。
 課題図書 【ニュートン別冊 健康の科学知識 食事、睡眠、美容、体調……、知って役立つ体の知識50】 ニュートンプレス 1,980円
 5つの章のうち1つの章を選んで、なぜそのテーマ(章)を選んだのかという理由と、その章を読んで気がついたこと、感じたことを記述してください。
- ⑦あなたの興味のある仕事 (または取得したい資格) について、以下の内容を800字以内で記述してください。
 1) その仕事 (または取得したい資格) に関する概要
 2) なぜその仕事 (資格) に就きたい (取得したい) と思ったのか
 3) その仕事 (資格) を通じて社会にどのように貢献したいか

※課題についての注意

- ・課題は内容を800字以内にまとめ、市販の原稿用紙 (A4サイズ、横書き400字詰め)、または本学ホームページから「原稿用紙 (総合型選抜用)」を印刷したものに記述してください。
- ・図表や、写真などを加えたい場合は、課題について記述している用紙とは別の用紙 (A4サイズ2枚以内) に貼り付け、または印字したものを提出してください。
- ・右の記入例を参考に、課題番号、氏名、ページ番号を書いてください。

記入例 (全ての用紙に記入)

課題番号	氏名
	ページ番号

面談の方法

指定された日時に会場へお越しください。

- (1) 面談方法 エントリー者1名に対し、複数の教員で個人面談 (2回) を行います。
- (2) 面談内容 1回目は「自己紹介文」、2回目は「課題」を中心に行います。
- (3) 面談時間 それぞれ約20分間、合わせて約40分間行います。なお、課題を中心に行う面談では、はじめに課題について口頭で説明していただきます。

評価の方法

「自己紹介文」「課題」「面談」をもとに、結果を総合的に評価し、出願許可者を決定します。

出願許可判定結果については、許可・不許可にかかわらず、面談を受けた全員に通知します。

- (1) 配点 自己紹介文 (10) + 課題 (10) + 面談「自己紹介文」(40) + 面談「課題」(40) = 100点
- (2) 評価内容 本学建学の精神、アドミッションポリシーに基づき、提出された書類及び面談 (プレゼンテーションなどを含む) を通じて、学力の3要素 (知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性) を多面的・総合的に評価します。また、志望動機、学科内容の理解度と志望内容の適合度なども合わせて評価します。

探究活動報告型

エントリー書類

「エントリーシート」「自己紹介文」「プレゼンテーション用資料」を一緒に提出してください。

(1) エントリーシート

本学ホームページから「エントリーシート」を印刷し、使用してください。

(2) 自己紹介文

本学ホームページから「自己紹介文」を印刷し、以下の項目について800字以内で記述してください。

- ①東京家政学院大学の志望学科への志望動機
- ②志望学科で学びたいこと
- ③大学卒業後、志望学科での学びをどのように活かしたいか

(3) プレゼンテーション用資料 (提出用) 2部

あなたが高校時代に行った「探究活動」について、以下の項目を意識して資料を作成してください。

- ①その内容と取り組んだ理由
- ②その取り組みの中で大変だった (困った、悩んだ) こと、それをどうやって解決したか
- ③②で得た経験をこれからの学びにどう活かしていきたいか

活動例)

高等学校での活動 (総合的な探究の時間での取り組み、部活動、生徒会・委員会活動など)

資格・検定を取得 (合格) するための活動 (取得の有無は問わない)

作品制作

※「総合的な探究の時間」で作成した資料などがある場合は、それを提出することも可

資料サイズはA3またはA4 (用紙は自由) とし、枚数は5分間でプレゼンテーションできれば何枚でも構いません。

プレゼンテーション (発表) 方法

面談開始後、最初の5分間でプレゼンテーション (発表) していただきます。なお、プレゼンテーション時に使用する資料は持参してください (提出したものと同一資料でも構いません)。また、プレゼンテーション時に資料の掲示を希望する場合は、ホワイトボードの使用を認めます (PCでの投影は不可)。

面談の方法

指定された日時に会場へお越しください。

- (1) 面談方法 エントリー者1名に対し、2名の教員で個人面談 (1回) を行います。
- (2) 面談内容 プレゼンテーション (発表) と、事前に提出された自己紹介文とプレゼンテーション (発表) 内容についての質疑応答を行います。
- (3) 面談時間 約25分間 (プレゼンテーション (発表) 5分間 + 質疑応答20分間) 行います。

評価の方法

「自己紹介文」「プレゼンテーション用資料」「面談」をもとに、結果を総合的に評価し、出願許可者を決定します。

出願許可判定結果については、許可・不許可にかかわらず、面談を受けた全員に通知します。

- (1) 配点 自己紹介文 (15) + プレゼンテーション用資料 (25) + 面談 (60) = 100点
- (2) 評価内容 志望動機と志望学科の学びとの適合度、探究活動について、活動内容の良し悪しではなく、資料だけでもプレゼンテーションの内容がわかるよう工夫がされているか (必要な項目が盛り込まれているか) 表現力などを総合的に評価します。

課題探究型

エントリー書類

「エントリーシート」・「自己紹介文」・「課題」及び「調査書」を一緒に提出してください。

(1) エントリーシート

本学ホームページから「エントリーシート」を印刷し、使用してください。

(2) 自己紹介文

本学ホームページから「自己紹介文」を印刷し、以下の項目について800字以内で記述してください。

- ①東京家政学院大学の志望学科への志望動機
- ②志望学科で学びたいこと
- ③大学卒業後、志望学科での学びをどのように活かしたいか

(3) 課題

次の①②どちらか1つを選択し、課題を作成してください。

①次の単語の中から、3つ以上を選んで、「食」について、あなたの考えを1200字以内で記述してください。

なお、本文の最後に100字程度のまとめを入れてください。

単語：「健康」、「生活習慣病」、「栄養」、「教育」、「安全」、「食糧」、「農業」、「食文化」、「環境」

②課題図書を読んで、以下の内容についてそれぞれ記述してください。

課題図書 日本糖尿病学会編・著 【糖尿病食事療法のための食品交換表 第7版】 文光堂 990円

- 1) 糖尿病の食事療法について400字以内で記述してください。
- 2) その中で、あなたが疑問に思ったことを400字以内で記述してください。
- 3) 現在のあなたの食生活と糖尿病食事療法の共通点と相違点について400字以内で記述してください。

※課題についての注意

- ・本文は、市販の原稿用紙（A4サイズ、横書き400字詰め）、または本学ホームページから「原稿用紙（総合型選抜用）」を印刷したものに記述してください。
- ・下の記入例を参考にしてください。
- ・全ての表記には黒ボールペンを使用してください。
- ・課題①は表紙に氏名、タイトル、使用した単語を明記し、文中の単語には黒ボールペンにてアンダーラインを引いてください。
- ・課題②は表紙に氏名、課題図書名を記載してください。

記入例（課題①表紙）

氏名
タイトル
単語

記入例（課題②表紙）

氏名
課題図書名

記入例（課題①②共通本文）
（ページ番号は3枚全てに記入）

<div style="border: 1px solid black; width: 80%; margin: 0 auto; height: 80px;"></div>
ページ番号

一次選考

「自己紹介文」・「課題」を総合判定し、二次選考（面談）を受ける人を決定します。結果は全員に通知します。また、一次選考通過者には面談日時などを明記した通知を送付します。

二次選考（面談）の方法

指定された日時に会場へお越しください。

(1) 面談方法

一次選考通過者1名に対し、複数の教員で個人面談（2回）を行います。

(2) 面談内容

- ・個人面談A
最初に課題について約5分間のスピーチをしていただき、引き続き「自己紹介文」・「課題」を中心に面談を行います。互いの理解を深めることが目的です。
- ・個人面談B
高等学校までの学習内容ならびに食と健康に関する一般常識について面談を行います。

(3) 面談時間

個人面談Aは約20分間、個人面談Bは約10分間、合わせて約30分間行います。

評価の方法

「自己紹介文」・「課題」・「面談」・「調査書」をもとに、結果を総合的に評価し、出願許可者を決定します。出願許可判定結果については、許可・不許可にかかわらず、面談を受けた全員に通知します。

(1) 配点

- ①一次選考
自己紹介文（30）＋課題（70）＝100点
- ②二次選考
個人面談A（40）＋個人面談B（50）＋調査書（10）＝100点

(2) 評価内容

本学建学の精神、アドミッションポリシーに基づき、提出された書類及び面談（プレゼンテーションなどを含む）を通じて、学力の3要素（知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性）を多面的・総合的に評価します。また、志望動機、学科内容の理解度と志望内容の適合度なども合わせて評価します。